

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	スポーツビジネス・マネジメント概論（Sports business management）		
ナンバリングコード	E10701	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 基礎レベル スポーツビジネス
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修: スポーツビジネスコース 選択: 地域マネジメントコース、Bソリューションコース、会計ファイナンスコース、こども・福祉コース コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E001151	クラス名	-
担当教員名	竹田 隆行		
履修上の注意、履修条件	スポーツビジネスの基本を学びます。スポーツ産業論6を教科書として使用します。他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解ができる内容になっています。 手ぶらで講義に出席しない。事前に教科書を読んでおくこと。スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っています。こだわりは必要ですが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたい。		
教科書	スポーツ産業論 第7版(杏林書院)		
参考文献及び指定図書	スポーツビジネスマネジメント(日本経済出版社) マネジメント-基本と原則-(ダイヤモンド社)		
関連科目	スポーツリテラシーⅣ(スポーツ産業論)、スポーツ経営学		

○基本情報		
授業の目的	スポーツを楽しむ人々の年齢層が広がるとともに、スポーツやレジャーを楽しむ場所や機会が飛躍的に増大しました。「するスポーツ」とともに「見るスポーツ」においても旺盛な消費活動を展開するようになり、ビジネスとしてスポーツが注目されるようになりました。 本講義では、スポーツビジネスとは何かを学習します。ビジネスの基本は領域を設定することです。この講義ではスポーツビジネスの領域であるスポーツ産業の構造を理解します。修得した知識をビジネスの場で適応、応用できる技術として身につけることを目的とします。	
授業の概要	スポーツビジネスの事業領域であるスポーツ産業の構造について学びます。スポーツ産業論6版の第Ⅰ部とⅡ部の内容を説明します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	スポーツビジネスマネジメント概論を担当する教員(竹田隆行)は、社団法人スポーツ産業団体連合会(現:公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会)在職中に、スポーツイベントのマネジメントやスポーツビジネス講座の開講、スポーツに関する調査事業を担当。在職中に得たマネジメントの知識や経験を活かして、スポーツビジネス、スポーツマネジメントについて授業を行う。日本体育学会(体育経営管理専門領域)、日本体育・スポーツ経営学会に所属。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	スポーツビジネスに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。	10点		
【知識・理解】	スポーツビジネスの専門的・実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。	70点		
【技能・表現・コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツビジネスの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。	20点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 最終授業時に全体向けにフィードバックを行う。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	スポーツビジネス・マネジメント概論（Sports business manage 竹田 隆行	授業コード	E001151
学修内容				
1. ○第1回 スポーツビジネスとは何か スポーツビジネスという言葉は、「スポーツのビジネス」と「スポーツを利用したビジネス」を意味しています。スポーツビジネスとは何かを説明します。また、講義の進め方について説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
2. ○第2回 スポーツ産業の市場について スポーツ産業の市場規模及びその産業構造について学びます。スポーツに関連したICT産業と近接産業によるスポーツ産業の発展の可能性について説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
3. ○第3回 スポーツ用品産業1 スポーツ商品産業について説明します。スポーツ用品産業の歴史と産業構造について学びます。スポーツ用品産業の市場規模（メーカー、卸、小売店）とそれぞれの職種について説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
4. ○第4回 スポーツ用品産業2 スポーツ用品産業の流通構造とビジネスサイクルについて学びます。スポーツ用品産業の発展について、ブランドビジネスとイノベーションの視点から説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
5. ○第5回 スポーツ施設産業 スポーツ施設産業について説明します。スポーツ施設の産業の現状と今後の課題について学びます。オリンピックレガシーとして、大会後のスポーツ施設が機能するか否かを説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
6. ○第6回 スポーツサービス産業 スポーツサービスをプロダクトとして理解します。スポーツ用品とスポーツサービスの違いを学びます。ブランディングとロイヤルティの視点でスポーツサービス産業のマネジメントを説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
7. ○第7回 スポーツとメディア産業1 スポーツは、メディア（TV）が求めるコンテンツをすべて有しており、コストパフォーマンスがすぐれたソフトであることを理解します。ヨーロッパサッカーにおけるメディアの功罪について学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
8. ○第8回 スポーツとメディア産業2 メディアの多様化とテクノロジーの進化を理解します。モバイル端末とスポーツビジネスについて説明します。スポーツ中継におけるメディアが果たす役割の変化を理解します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連することを参考図書やネットで確認すること。			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	スポーツビジネス・マネジメント概論（Sports business manage 竹田 隆行	授業コード	E001151
学修内容				
9. ○第9回 スポーツ参加者を知る わが国のするスポーツの現状について、スポーツ実施率と競技スポーツ人口から説明します。わが国のスポーツ振興システムの問題点とその改善方法について学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
10. ○第10回 スポーツファンを知る スポーツ観戦市場の現状と観客動員数の現状を把握します。観戦者調査から、スポーツ観戦者の特性を理解してマーケティングに反映させます。スポーツファンの心理と行動について説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
11. ○第11回 スポーツへの社会化と専門化 スポーツへの社会化には、スポーツ参加への社会化とスポーツによる社会化があります。スポーツ参加を競技スポーツとして見るのではなく、ライフステージから見ることの重要性を学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
12. ○第12回 スポーツサービスと消費行動 サービス業としてのスポーツサービスについて説明します。スポーツ消費者のロイヤルティを高めるための顧客価値の主要3因子について学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
13. ○第13回 スポーツ資格制度 スポーツ指導者の資格制度と公認指導者の活動・活用実態について説明します。スポーツ指導者に求められる専門性、技術レベルと称号の位置づけについて学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
14. ○第14回 これからのスポーツビジネス2 スポーツビジネスの事業領域であるスポーツ産業は、今後構造変化が求められるのか、否かを本講義で定義した3つの産業から検証します。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
15. ○第15回 これからのスポーツビジネス2 スポーツ産業と隣接する産業とのコラボレーションについて新たなビジネスの展開について説明します。また、ビジネスを行う上で必要になるマネジメントの重要性を学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業論7版」の該当する章を読み要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
16. 期末試験 これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。				
予習				
復習				